



宮城学院女子大学
心理行動科学科
在学生の実践研究報告

miniココロサイコロ

本学科のモットーは「心理学は机の上だけでは学べない」。
その実現が、日々の出来事を心理学的に分析するこの試みです。
昨年11月に仙台市で開催し大好評だったパネル展を、青森・山形・福島で開催！ 大学生ってどんな勉強をしている？その成果のレベルは？実際に確かめにご来場ください！！

随時説明

	in 青森 	in 山形 	in 福島 
日時	8月18日(金) 13:00～18:00 8月19日(土) 10:00～15:00	8月26日(土) 14:00～18:00 8月27日(日) 11:00～16:00	9月2日(土) 13:00～17:00 9月3日(日) 10:00～14:00
場所	青森観光物産館 アスパム2階	霞城セントラル1階 アトリウム	MAXふくしま5階 猫カフェ前スペース
テーマ	スポーツ観戦の 心理学 ＜楽天イーグルス とのコラボ！＞	仙台市地下鉄 をより快適に —利用者マナーを 通して—	義援金を寄 付する心理 in 2016

各研究テーマの概要は以下の通りです

スポーツ観戦の心理学 ＜楽天イーグルスとのコラボ！＞

楽天イーグルスの試合を観戦している人たちについて心理学的に分析してみました。ユニフォームの着用が心拍数や応援の気分に与える影響や、試合展開や天候と帰宅行動との関係、SNSを利用したファンサービスをどのように利用しているのかなど、スポーツ観戦について実際の観戦者を対象とした心理学実験や観察に基づいて実施した研究成果をぜひご覧ください。今江敏晃選手へのインタビューによる「選手にとって嬉しい応援とは？」も必見です！

仙台市地下鉄をより快適に —利用者マナーを通して—

開業から半年後、利用者数は開業前の需要予測の6割と報じられた東西線（河北新報2016年6月5日）。利用者を増やすには、快適な車内空間を維持することも大切なのでは？と考え、仙台市交通局の取り組みをインタビューし、利用者マナーについても調べました。迷惑な行為は予想より多いのか少ないのか？新しい東西線と開業後30年近い南北線で利用者の行動は違うのか？など、延べ22,000人の利用者の行動観察と県民約500人へのアンケート結果から明らかにします！

義援金を寄付する心理 in 2016

「義援金を寄付する心理」シリーズは、2011年度からはじまり今回で第6回目となります。「人は、なぜ義援金を寄付するのか？」

「時間が経過すると、人は義援金寄付に対する意識が変わるのか？」これらの疑問について、今回は東日本大震災だけではなく、昨年4月に発生した熊本地震も検討の対象として調査を行いました。その結果、意外な事実が判明！？転換期となりつつある現在の義援金寄付の実情を、会場では是非ご覧下さい！